

平成20年度 川崎市くさぶえの家の管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	社会福祉法人川崎市社会福祉事業団(川崎市中原区小杉町3-245)
(2) 指定期間	平成18年4月1日 ~ 平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・生活介護、自立訓練に関する業務 ・相談支援 ・くさぶえの家地域サービス事業 ・施設の利用契約に関する業務 ・管理施設等の維持管理に関する業務 ・利用者意見の把握及び事業への反映に関すること。等

2 管理運営(事業執行)に対する評価

評価項目	平成20年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
① 施設・設備の維持、管理に関する業務	<p>清掃、給食、送迎業務については、専門業者に委託している。</p> <p>安全で快適な生活・作業環境を利用者に提供するため、整理整頓、採光等の環境整備に努めた。</p>	<p>専門業者に外部委託することにより、効率的かつ適切に維持管理されていることは、評価できる。</p>
② 職員配置及び研修の状況	<p>《職員配置》</p> <p>管理者1、生活支援員6、作業支援員3、事務員1、医師3(嘱託)、栄養士1(兼務)、療育指導相談員1(嘱託)</p> <p>実習生やボランティアも積極的に受け入れている。</p> <p>研修については、職員の資質と利用者支援の向上を目的に実施した。</p> <p>《法人研修》 2回(参加人数計4人)</p> <p>・経理研修 ・AED研修会</p> <p>《専門研修》 24回</p> <p>(毎月2回、参加人数計26人)</p> <p>・スーパーバイザー会議 ・ケース会議</p> <p>《外部研修》 11回(参加人数計14人)</p> <p>・発達協会実践セミナー</p> <p>・自閉症実践セミナー</p> <p>・社会福祉会計簿記研修</p> <p>・全国自閉症施設協議会神奈川大会 等</p> <p>《職場内研修》 2回(参加人数計26人)</p> <p>・利用者処遇研修 ・新体系移行研修</p>	<p>実習生やボランティアの受け入れは、職員の確保や施設・地域の活性化にも有効と考えられるので、今後も継続を図ること。</p> <p>内部研修の開催や外部研修への積極的な参加により、職員の資質の向上に取り組んでいることは、評価できる。</p>
③ 関係機関との連携や地域とのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・併設の末長こども文化センター運営協議会に参加し、地域懇談会を開催した。 ・末長こども文化センター・くさぶえの家合同祭を開催し、収益金の一部を末長こども文化センター運営協議会に寄贈した。 ・くさぶえの家には、日本自閉症協会川崎支部の事務局が設置されていることから、親の会等と連携し、利用者支援に反映した。 ・発達協会の倉持親優氏を講師に迎え、「自閉症児者への体操のすすめ」をテーマに講座を開講し、60人の参加を得た。 ・くさぶえの家文庫を開放し、78冊を貸し出した。 	<p>関係機関との連携や地域との交流が活発に行われており、自閉症等に関する正しい知識の普及啓発活動にも取り組んでいることは、評価できる。</p>
④ 利用者の健康管理	<p>嘱託医による健康診断(精神科:年6回、内科:年6回、歯科:年2回)を実施したほか、希望者にはインフルエンザワクチン接種や眼科検診を行った。</p> <p>肥満傾向にある利用者について、栄養管理ケア計画に基いた健康管理を行い、個別に運動プログラムを取り入れた。</p>	<p>定期的な健康診断のほかに、肥満対策にも取り組んでいることは、評価できる。</p>
⑤ 安全管理への取り組み	<p>研修や職場点検により、職員の危機管理意識を高めるとともに、事故発生時には「くさぶえの家事故対策フロー」に基づいて迅</p>	<p>今後も安全管理を徹底し、事故を未然に防ぐよう努めること。</p>

		速に対応した。																																		
(2) 利用状況																																				
① 利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・契約者数 27人(男23人、女4人) ・新規契約 1人、解約 2人 ・延べ利用状況 338人、6, 205日 		重度障害者や男性の比率が高く、定員についても柔軟に対応するなど、利用者のニーズに応じた受入れを行っていることは、評価できる。																																	
② 利用者支援	<p>利用者とともに個々の課題に基いた個別支援計画を作成し、行動障害の改善、社会性及びコミュニケーション能力の向上を図る支援を行った。</p> <p>利用者が持つ様々な行動障害を改善する媒体として、電線解体、電球袋詰め等の軽作業を提供している。</p> <p>工賃については、計6, 380, 356円を工賃支給要綱に基づき、利用者に公平に還元した。</p>		個別支援計画に基づいて、行動障害の改善に軽作業を取り入れ、実績を上げていることは、評価できる。																																	
③ 給食の提供	<p>毎月、給食委員会を開催し、食事内容を検討し、利用者の嗜好や健康状態を考慮した食事を提供した。また、支援員は、食事のマナーや偏食について指導を行った。</p> <p>食事提供延べ件数 5, 873食</p>		食事も指導の一環として取り入れ、献立に利用者の健康状態や嗜好等が配慮されていることは、評価できる。																																	
評価項目																																				
(3) 収支状況																																				
① 収支状況	<p>《知的障害者更生施設支援事業》</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>収入(授産事業除く)</td> <td style="text-align: right;">91,890,356</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>給付費</td> <td style="text-align: right;">47,632,060</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>利用料</td> <td style="text-align: right;">2,853,285</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">40,183,935</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">1,221,076</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td style="text-align: right;">74,220,397</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td style="text-align: right;">55,640,424</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td style="text-align: right;">3,764,580</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td style="text-align: right;">14,389,057</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">426,336</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>差額</td> <td style="text-align: right;">17,669,959</td> <td>円</td> </tr> </table> <p>収入のうち給付費等が55%、市からの委託料が44%。また、支出のうち人件費が75%となっている。</p>	収入(授産事業除く)	91,890,356	円	給付費	47,632,060	円	利用料	2,853,285	円	委託料	40,183,935	円	その他	1,221,076	円	支出	74,220,397	円	人件費	55,640,424	円	事業費	3,764,580	円	事務費	14,389,057	円	その他	426,336	円	差額	17,669,959	円		収支は良好で経営状態は安定している。今後も質の高いサービス水準の維持・更なる向上を図り、適切な執行に努めること。
収入(授産事業除く)	91,890,356	円																																		
給付費	47,632,060	円																																		
利用料	2,853,285	円																																		
委託料	40,183,935	円																																		
その他	1,221,076	円																																		
支出	74,220,397	円																																		
人件費	55,640,424	円																																		
事業費	3,764,580	円																																		
事務費	14,389,057	円																																		
その他	426,336	円																																		
差額	17,669,959	円																																		
(4) その他																																				
① 利用者からの要望・苦情等への対応	<p>法人の「苦情解決・相談実施要綱」に基づき、苦情解決窓口と責任者を置いて対応した。また、法人内に第三者委員会を設置している。</p>		苦情解決の体制を整備し、適切に対応していることは、評価できる。																																	
② 個人情報の保護	<p>法人の「個人情報保護要綱」を基本に、くさぶえの家として「個人情報に対する基本方針」を定め、問い合わせ窓口を設置するなど、個人情報の適正な管理を行った。また、職員のみならず実習生やボランティアに対しても周知し、情報の管理に努めた。</p>		内部規定を定め、適正な取扱いに努めていることは、評価できる。今後も、個人情報保護の徹底を図ること。																																	

3 管理運営(事業執行)に対する全体的な評価

市内唯一の自閉症専門施設としてリーダー的な役割を担っており、軽作業を取り入れた利用者支援において実績をあげている。施設の管理も適切になされ、経営状態も良好である。

4 平成21年度の管理運営(事業執行)に対する指導事項等

利用者満足度調査や第三者評価の実施結果等を踏まえ、引き続き利用者を主体とした質の高いサービスの提供に努めること。